

能力評価表(テクニカルスキル・デイサービス)

評価対象期間： 年 月 ～ 年 月

被評価者(1次評価者) 氏名：

評価者(2次評価者) 氏名：

移動・移乗介助、体位変換

	1次評価	2次評価
移動・移乗に必要な福祉用具(車イス、杖、補装具、歩行器等)の扱い方に関する基礎知識を有し、点検・準備を確実にしている。(例：車いすのフットレスト(フットサポート)やブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレスト(フットサポート)が上がっているか、タイヤの空気が十分か等。)	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者の疾病等に応じて体調や顔色を確認したうえで、利用者の状況に合わせて、利用者を側臥位にする、テコの原理を活用する等しながら無理のない起居の介助を行っている。(例：全介助が必要な利用者の上体がカーブを描くように起こす、一部介助が必要な利用者について、利用者の残存機能を活かしながら起居の支援を行う等。)	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
一部介助が必要な利用者には、身体状況に応じた方法で、声かけ、介助を行い車いすへの移乗を行っている。(例：利用者に健側の手でベッドから遠い方のアームレスト(アームサポート)をつかんでもらう等して、患側を保護しながら前傾姿勢で立ちあがってもらう、利用者の健側の足を軸にして体を回転させる等。)	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者の状態に応じて安全、安楽に配慮して身体に摩擦を与えないように体位変換を行い、クッションやタオル等を使用し安楽な体位保持への介助を行うとともに、皮膚状態等を観察、確認し、必要に応じて記録したり、上位者や医療職に報告している。(例：利用者の膝を立てテコの原理を活用する等しながら体位変換する、横向きになることができる人には自力で横になってもらう・膝を曲げられる人には自分で曲げてもらうなど、利用者の残存機能を活かしながら体位変換する等。)	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1

入浴介助

バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴や清拭の可否について確認している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態や希望に応じた入浴方法を選択している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
入浴介助の基礎知識および洗体、洗髪、洗顔等、基本的な洗い方の知識を有し、ADLが比較的自立的な利用者・通常浴槽利用者に対して、誘導、声かけ、見守り、洗体介助、湯船への移動介助を適切に行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
浴槽に入る時は、利用者に手すり等をつかんでもらうとともに、バランスを崩さないよう身体を支えて介助している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
入浴時のリスクを把握し、安全確認を適切に行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
入浴中は、入浴時間(湯に浸かっている時間)をチェックし、利用者の体調変化や安全に常に気を配っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者が入浴を楽しめるよう、適切な声かけやコミュニケーションをとりながら介助を行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者の全身状態や入浴の状態等を観察し、必要に応じて記録したり、家族、上位者、医療職等に報告している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
声かけを行いながら、体を拭き、着衣、髪を乾かし整髪を行う等の一連の介助を、利用者のペースに合わせて適切かつ安全に行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
入浴後、利用者の体調に変化がないか確認するとともに、水分摂取、休息等を促し、快適に過ごせるように配慮している。また、利用者が湯冷めしないように留意している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
浴室の片付け方や湯の処理の仕方について利用者に確認し、浴槽および使用用具を洗い、用具は元の場所に収納している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1

排泄介助

清潔行為、不潔行為に関する基本的知識を有し、衛生面に気をつけ、手洗い、感染予防のための手袋着用等を確実にしている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
トイレでの排泄の際、カーテンやスクリーンを使用したり、排泄時にはその場を離れ、排泄終了時には教えてくださいと説明する等してプライバシーに配慮している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
ズボン、下着を下ろす了承を得て、支えながら下ろしている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
排泄後、利用者にトイレットペーパー等で拭いてもらい、拭き残しがあれば清拭を行うとともに、利用者の手洗いを見守る等により清潔保持をしている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
排泄や皮膚の状態に異常がみられた場合には、家族、上位者、医療職等にすみやかに報告している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
排泄物の処理を適切に行っている。（例：使用済のオムツを適切に処理する等。）	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
必要に応じて換気を行うなど、環境整備を行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1

更衣介助

体調や気候に配慮しながら、利用者の好みの洋服を選んでもらっている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
更衣介助に関する基礎知識を有し、脱着衣に際し、定められた手順・順番を守って確実に介助を行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
洋服にしわやたるみがないか確認している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
皮膚の状態および更衣の状態等を確認し、必要に応じて記録し、上位者や医療職等にすみやかに報告している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1

認知症ケア

認知症に関する基本知識を有し、利用者の尊厳を重んじた基本的な介護方法について把握している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者のADL、IADL、周辺症状、精神状態等について理解している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
認知症高齢者の心を理解しようと努力し、利用者の周辺症状や事実の取り違え等について、否定したり叱ったりすることなく自尊心を尊重して関わりを持っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
危険回避能力の低い利用者については、転倒に注意しながら見守る等、適切な対応を行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者の状態を観察し、必要に応じて記録したり、上位者や医療職等にすみやかに報告している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者の表情、感情表現、行動などいつもと違う様子に気づき、なぜそのような行動をしたかを確認し、記録している。（例：スタッフの対応、本人の生活環境の変化、心身状況、生活歴、価値観・嗜好、家族・他者との関係、家族から収集した情報等の確認、記録）	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者のものの考え方やこれまでの生活習慣、家族との関係等について理解し、個別に必要な援助について検討し改善提案している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1

サービスの向上・改善

サービス計画に対する実施結果について振り返り、問題点や改善点を把握し、的確に上位者に報告している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
ミーティングやカンファレンス、上位者への報告・連絡・相談等の機会を利用して、提供したサービスの内容やケアの方法について検証し、自身の介護サービスの質を高めようと努めている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1

利用者、家族への情報提供

日頃から、利用者や家族とかかわりを持ち、親身になって対応している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者からの相談内容は記録し、管理者や相談員等に正確に報告している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者や家族に対し、会社・法人のサービスに関するパンフレット等により基本情報の提供を行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1

初回サービス提供のための準備(通所介護サービス)

ミーティング、回覧、朝の申し送り等により、事前に利用者の身体状況や生活状況等を確認している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
医療やリハビリ、療養等が必要な利用者については、ケアを行ううえでの留意事項や報告事項等を上位者に確認し、正確な情報を共有している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1

送迎

送迎を行う利用者、ルート、乗降場所等送迎に必要な事項を確実に確認している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者の送迎の際に、車両の乗降、歩行、移動、移乗、靴の履き替え等、必要に応じて、適切な介助を行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
送迎の際は、利用者や家族と、あいさつ等の基本的なコミュニケーションを適切に行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
朝のお迎えの際は、家族に、利用者の心身の状況、時間変更、持参物、服薬の状況等の確認を確実にしている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
帰りのお送りの際は、その日の出来事や、利用者の様子等についての報告を家族に確実にしている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
車中においては、利用者の楽しめるような話題づくりを行ったり、音楽を流す等、快適な移動時間を過ごせるよう、配慮している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1

通所介護サービスの実施

担当する利用者情報を確認・把握し、必要な情報はミーティング等で共有化している（例：利用者数、キャンセルの有無、利用者情報等）。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
基本的な介護技術・知識を有し、決められた内容のサービスを、決められた手順で確実に実施している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者のニーズや気持ち、身体状況の変化等に気を配り、見守り・声かけをし、異変があれば対応のルールに基づき迅速・的確に対応している。（例：咳やむせこみの場合には強さや顔色等を観察し声かけをする・タッピングを行う・それでも改善しない場合医療職へ連絡するという順で適切な対応をする、皮膚の異常の場合には症状を観察し原因を確認するとともに必要に応じて医療職へ連絡する、緊急事態発生時には事業所に連絡を入れる等。）	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
サービス実施後は、片づけ、清掃を行うとともに、引継ぎの準備等を行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
サービスの実施内容や利用者の状況等について、振り返りを行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1

食事介助

必要な食器、自助具、おしぼり、エプロン、水分摂取の道具等必要な物品を、清潔を確認して確実に準備している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
料理を確認し、利用者が食べやすい状態であることを確認している。（例：嚥下障害のある利用者の食事に適切なとろみをつける、禁忌食の確認をする、飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認する等。）	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者の食べたいものを聞きながら利用者と同じ目線の高さで介助し、しっかり咀嚼して飲み込んだことを確認してから適切な量の次の食事を口に運んでいる。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
誤嚥・窒息の際の対応方法についての知識を有し、異常時には迅速に家族、上位者、医療職等に報告、連絡している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者の摂取した食事・水分の量やかかった時間、誤嚥の有無、服薬状況等を正確に記録するとともに、必要に応じて家族、上位者、医療職等に報告している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1

口腔ケア

衛生面に気をつけ、手洗い等を確実にやっている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
口腔ケアに必要な物品（液状歯磨き、お茶、ガーグルベース、コップ等）を確実に準備している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
自力で歯磨き・うがい、義歯の洗浄等ができる利用者に対しては、声かけを行いながら自力で行ってもらい、状況を確認して必要に応じてサポートしている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
うがいができない利用者については、専用物品等を用いて口腔内を清潔に拭いている。義歯を用いている利用者については、利用者に声かけしながら義歯を外し、汚れ、破損等を確認したうえで、決められた手順で洗浄を行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
口腔内の状態等を確認し、必要に応じて記録したり、上位者や看護師等にすみやかに報告している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1

レクリエーション、アクティビティ

レクリエーション、アクティビティの意義・目的や種類を理解し、メニューのアイデアの検討を行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
外出を伴う場合は、利用者の体調を確認して外出の可否および天候を確認した上で、持ち物、服装等、適切な準備を行っている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
レクリエーション、アクティビティの計画に沿って、安全に実施している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
利用者の意欲や楽しみを引き出すアプローチを行っている。（例：声かけや盛り上げ役を行う、スタッフも一緒に楽しむ、手伝いすぎない等。）	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
常に利用者の体調変化や安全に気を配っている。また、利用者が本当に楽しめているかどうか、表情を観察・確認している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
レクリエーション、アクティビティ終了後は、利用者の体調に変化がないか確認するとともに、水分摂取、休息等を促し、快適に過ごせるように配慮している。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1
レクリエーション、アクティビティ終了後、利用者の満足度や意見を聞いたり、自身としてうまくいったこと、いかなかったことを振り返り、次の企画に活かしている。	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1

コメント (1次評価者)

コメント (2次評価者)